

第2回 播磨町長期総合計画審議会

開催日時	令和元年 11 月 29 日（金）午後 1 時 00 分～2 時 45 分
開催場所	播磨町役場 第一庁舎 3 階 BC 会議室
出席者	<p>【長期総合計画審議会委員】</p> <p>田端 和彦（兵庫大学・兵庫大学短期大学部 副学長） 佐伯 亮太（国立明石工業高等専門学校 非常勤講師） 高木 利浩（播磨町連合PTA協議会 会長） 草部 芳彦（播磨町社会福祉協議会 副会長） 前田 忠男（播磨町自治会連合会） 尼木 智美（NPO法人スポーツクラブ 21 はりま 理事） 津村 道彦（公益社団法人加古郡広域シルバー人材センター 事務局長） 松井 佳子（播磨町人権擁護委員） 森田 孝明（播磨町社会教育委員） 田尻 美恵子（播磨町教育委員会教育委員） 井澤 妙子（住民委員） 正願 智教（住民委員） 井上 晴喜（住民委員）</p> <p>【町】</p> <p>清水 ひろ子（町長） 岡本 浩一（理事） 松本 弘毅（企画グループ統括） 野中 照代（企画グループリーダー） 大友 敬（企画グループ主事）</p>
欠席者	<p>正木 隆資（播磨町商工会 副会長） 藤本 徳子（播磨町連合婦人会 会長）</p>
議題	<p>1. 開会 2. 町長あいさつ 3. 議事 ・住民意識調査結果概要について ・第4次播磨町総合計画進捗評価について 4. 閉会</p>
資料	<p>資料1 第5次播磨町総合計画策定に関する住民意識調査結果概要 資料2 第4次播磨町総合計画進捗評価レポート</p>

1. 開会

2. あいさつ

【町長】

令和に入ってから数カ月で、社会を揺るがすような、また、今後の行政の在り方についても大きな課題を投げかけられる事件や事故があった。加えて、各地で台風などの自然災害が発生しているが、そうした中でも、播磨町においては比較的穏やかに過ごせたと感じている。今回の住民意識調査結果からも、安全で安心して暮らせるまちを望んでいることがよくわかる。また、子ども達からも教育やまちづくりに対して、ある程度の評価をしていただいているとも感じた。

播磨町は都会でもなく田舎でもない住みよいまちであると思っている。全国的にも高齢化に伴う介護や医療の問題を抱えているが、播磨町は播磨町にふさわしいまちづくりを進めたいと思っている。

本日も、皆様方から忌憚のないご意見を頂戴したい。

【会長】

前は、もう少し住民の意見を取り入れる方が良いのではないかというご意見もあったが、今回は住民意識調査の結果を踏まえて、全体像を掴んでいただきたい。皆様の忌憚のないご意見を伺いながら進めたい。

3. 議事

【会長】

本日の議事録の署名を、草部委員と前田委員にお願いしたい。

○住民意識調査結果概要について

(資料1について町から説明)

【委員】

治安が良いとの意見もあるが、7ページの「住み続けていくために必要な事」として「治安が良いこと」が上位となっている。私の感覚では、軽犯罪はあるが暮らしやすい安全なまちだと感じている。実際には治安が悪いと感じている人が多いのであれば、そのギャップはどうして生じているのかを知りたい。

【会長】

先般、播磨南高校でグループワークを実施した際も、町の課題は環境と治安だった。そういったことから、体感的なものは一致しているところがあるかもしれない。

【町】

播磨町は街灯の数も多く、治安が悪いと感じている人は相対的に少ないのではないかと思う。町としても治安は悪くはないと思っている。

【会長】

加古川警察署管内では軽犯罪が多いという統計が出ている。住民が感じている体感治安と統計的に出てくる結果とは異なるかもしれない。なお、播磨町では重大犯罪が発生していない。

【町長】

住み続けていくために、今後もあってほしいという願いから「治安が良いこと」を選んでいる方が多いと考えている。本設問は、現在無いから必要なのか、現在あるけれど更に充実させてほしいのか、こういった解釈であるか。

【町】

今の状況に満足であるが、今後も重要という状況と解釈している。

【町長】

他市町村の話を知っていると、播磨町は交通の利便性が良く、医療機関についても病院を誘致しており、決して劣っているとは思わない。今の状況を評価する中で、これからもあってほしいという希望と受け取らせていただいた。

【会長】

総合的にアンケートを読み取る必要がある。クロス集計等でこれから具体的にわかってくると思う。

【委員】

20、21 ページの「めざしてゆくべき播磨町の姿」が、今の播磨町を表している特徴的な回答であると感じた。にぎわいより、現在住んでいる人が住みよいまちが望まれている。

自身がまちづくりに関わっている中で、住民側がしっかりしないといけないと思ったのが、「参加してもいい活動」について、「わからない」と回答した人が多いという結果である。「意見交換の場」が住民参加だと思っている点も住民側の課題である。「まちづくり＝行政に物申す」ようになってしまっていないか。他市町では、住民の活動拠点整備を希望する等の声が多い。もっと具体的に住民協働について考えていく必要がある。

【会長】

9、10 ページの結果における、重要度は高いが満足度が低い項目の問題であると思う。「地域活動の活性化・住民参加の推進」は重要度が下から4番目という結果で、ともすれば見落とされる可能性もあるので、策定時の参考にさせていただきたい。

【委員】

委員の意見に同感である。自身が思うに、播磨町住民の傾向として行政へ要望はするが、自分達でやろうとすることが少ない。体感的な意見だが、行政へ要望し新たに施設を作ってもらっても、結局自分たちはあまり使用せず、近隣市町の人利用が多くなってしまいう印象がある。これはなぜかと考えると、行政に対して内弁慶の住民が多いからではないかと思っている。コンパクトで活気があるまちなので、そういった方が積極的に各種活動やイベント等に参加するように促すような施策も考えてもらいたい。

【会長】

中学生のアンケートでも、町への愛着に関する言葉があるが、愛着をどう高めるかが必要である。

【町】

住民と行政の意見交換の場ということであるが、行政からは、住民との意見交換の場である行政懇談会の実施を自治会へ要請しているが、なかなか応えていただけない。行政側は、要請があればいつでも意見交換の場を設ける用意はある。住民意識調査においては、そういった場に出られない方の回答が、どうしても後ろ向きの回答結果になってしまうのかもしれない。

【会長】

居住歴とのクロス集計があれば、そのあたりのことがわかるのではないかと思う。

【委員】

事業所の調査は100事業所を対象としているが、どのように抽出したのか。また、住民意識調査において、3ページに回答者の年齢層は出ているが、調査票配布時の年齢層が分からない。年齢層別回収率の結果が気になったところである。そのうえ設問数が多いため時間がかかり、回答しづらい設問もあるという感想を持った。回答者にとって負担が大きかったことも回収率が低い理由の一つではないか。11ページの「出産しやすい環境づくりのために必要な支援」として、町内に産院がないことから、そういう選択肢が必要だったのではないか。

【町】

事業所アンケートの抽出は、商工会の会員事業所から抽出しており、無作為ではなく業種が偏らないように選別させていただいた。なお、本日の資料は、調査項目のうち主要設問及びその結果を抜粋した概要版である。

【会長】

調査票を配布した年齢区分と回収した年齢区分の比較分析をお願いしたい。

○第4次播磨町総合計画進捗評価について
(資料2について町から説明)

【委員】

現行計画において、まちづくり指標の目標値はどのようなプロセスを経て決めたのか。

【町】

庁内組織である総合計画策定委員会と専門部会の中で検討していくことになる。指標についても、例えば、総合戦略におけるKPIは指標数が多すぎるのではないかという意見もある。次期総合計画を策定する際には、現行計画の指標が適正だったかどうか踏まえて、今後検討していく予定である。

【町】

子育て環境という点では、12年程前には県下最低ラインであった合計特殊出生率も、現在は上昇

している。学校教育についても校舎の耐震工事やエアコンの設置を早くから行うなど、将来播磨町に子どもたちが再び戻ってくるという「ふるさと回帰」を念頭に行っている。子育て施策、学校教育の充実のために多くの費用をかけている。

計画の指標設定及び評価の在り方については、あまり細かい指標とすると本質的には状況が好転していてもそれが結果として表れないこともある。次期計画では、10年後の正当な評価が得られるような指標の設定をする必要がある。

【会長】

総合戦略は、地方に人口を呼び戻すということを目的として策定している。その上で、目的達成のためのKPIを設定している。指標設定の難しさもあるが、事務局で精査して評価できるようなものにしてもらいたい。

【町】

全国的に将来人口が減る見通しの中で、この地域も人口減少の可能性はあるが、人口が減っても頑張れる地域だと思う。町内の企業については、工業分野でも先進的な取組みをされているが、そういう部分が評価につながっていない。評価の目をどこに向けるかを委員の皆様にも考えていただきたい。

【委員】

健康高齢者と不安高齢者それぞれの生きがいを、資金、体力、医療、趣味のように、もう少し具体的に引き上げたほうが見やすいのではないかと。先進的かつ新しい取組等が見つかれば良いと思う。

【委員】

播磨町は人口が減少しておらず、企業も多くにぎやかで良いと思うが、脆弱性も知ってほしい。播磨大橋が地震等で崩落すれば、播磨町の経済が止まってしまう。その辺りも知ってもらった方が安心する。

【会長】

脆弱な部分もあると思う。安心安全も大きなテーマであるので、そのあたりも考えてもらいたい。

○前回審議会での質問事項（統計データ）

（統計データについて町から説明）

【会長】

本日いただいた様々なご意見を踏まえて、計画策定に向けて取り組んでいきたいと思う。

【町】

お忙しい中、熱心にご審議いただきありがとうございます。

本日いただいたご意見を踏まえ、策定委員会及び専門部会においても策定作業を進めていくので、引き続きご審議願いたい。

次回は1月下旬頃を予定している。

4. 閉会

【理事】

本日の資料から、播磨町の強み・弱みをご覧いただけたと思う。強みについては更に充実させるべく取組み、弱みについては行政だけでは克服できないものも多いことから、様々なステークホルダーとの連携、協働により克服したい。弱みを強みに変えていくような総合計画にしていきたいので、今後ともよろしく申し上げます。

(終了)